

見守り 新鮮情報

電動のこぎり 使用中の 事故に注意!

事例1

DIY中、**電動のこぎり**で左手の**指**を切った。親指は完全に**切断**され、人差し指もほとんど切断された状態となった。
(80歳代)



©Kurosaki Gen

事例2

電動のこぎりを操作中、のこぎりが**跳ね上がった**際に、**右足**に**傷**を負った。受診したところ、**骨折**もしていたことが分かった。
(80歳代)

ひとこと助言

注意してね



見守るくん

- 電動のこぎりは、使い方や対処法を誤ると、死亡や重傷などの重大な事故につながる場合があります。使用前には取扱説明書をよく読み、その製品の特性や正しい操作方法を十分に理解してから使用しましょう。
- 刃に材料等が詰まって動かなくなったときに、その反動でのこぎりの本体や材料が作業側側に跳ね飛ばされ、事故につながるケースもみられます。固定できる材料の場合は万力などで固定し、慎重に作業しましょう。
- 作業は適切な服装で行い、防護めがね、防塵マスク、耳栓などの安全防護具を着用しましょう。明るく整理整頓された場所で行うことも大切です。
- 万が一事故が起こった際に、発見や救護が遅れないよう、家族などへ声を掛けてから作業を始めましょう。

本文イラスト：黒崎 玄

見守り新鮮情報 第462号 (2023年9月12日) 発行：独立行政法人国民生活センター

長崎市消費者センター (長崎市築町3番18号メルカつきまち4階)

相談専用電話 **829-1234** または 消費者ホットライン **188**

時間 **10時~17時** (土日祝も可 月曜定休)